

ケニア事務所 活動報告

会員総会 2024年9月22日

八木 志津子

北島 慶子

大野久美子 (インターン)

現地スタッフ10名



目次

1. 幼児の栄養改善
2. サトウキビ農家へのアグロフォレストリー普及
3. ケニアの子どもたちと守る生物多様性
4. 今後の予定

目次

1. 幼児の栄養改善

2. サトウキビ農家へのアグロフォレストリー普及

3. ケニアの子どもたちと守る生物多様性

4. 今後の予定

1. 幼児の栄養改善

地域に開かれた幼稚園： ケリチョー郡の幼児の栄養改善に向けて (JICA草の根パートナー型事業 2022年-2026年)



対象準郡

ソイン・シゴウェット
西キプケリオン



対象幼稚園

カボセンオ、バレゲイウェット
カプクレスA、カプレリット



プログラム

- ① 成長モニタリング
- ② 給食
- ③ モデル学校菜園
- ④ 2, 3歳児の親子教室
- ⑤ 食事モニタリング



地域に開かれた幼稚園：
ケリチョー郡の幼児の栄養改善に向けて

中間地点での成果

栄養状態： 栄養士による介入を要する割合は1年で4，5歳児は4割から3割以下、2，3歳児は2割から1割以下に減少。

食事の質：
(IDDS 最高 8 食品群) 1年前 4 ないし 5 食品群。7食品群はまれ。
現在 4 食品群は 0。最低5食品群。8食品群を食している例も。
比較的恵まれた天候が続いた。食品群の数の増減は作物の収穫時期と調査のタイミングに大きく左右される。

プレイサークル：「お試しさん」→ 134人。2，3歳児推定人口の45%。
(開催9回) 「プレイサークル大好き Regularさん」→ 44人。お試しさんの30%。

家庭の衛生環境： コロナ禍以降改善なし。次年度の目標。

1. 幼児の栄養改善

地域に開かれた幼稚園：
ケリチョー郡の幼児の栄養改善に向けて

境界を超えた連携



地域に開かれた幼稚園：
ケリチヨ一郡の幼児の栄養改善に向けて

サステナビリティに向けた方向転換

学校保健制度

1. 成長モニタリング
2. 学校給食
3. モデル菜園



「幼稚園栄養デー」

1. 成長モニタリング
2. 学校給食
3. モデル菜園
4. プレイサークル

目次

1. 幼児の栄養改善
- 2. サトウキビ農家へのアグロフォレストリー普及**
3. ケニアの子どもたちと守る生物多様性
4. 今後の予定

2. アグロフォレストリー（地球環境日本基金）

ケニア共和国半乾燥地域の植林推進目指して ーサトウキビ農家へのアグロフォレストリー普及（最終年次）



最終年次目標

対象地域でのアグロフォレストリー活動の定着とサトウキビ農家の収入の向上



対象地域

Kapkara Sub-location
Kapchebwai Sub-location
計15村の農家



対象校

Kapchebwai小学校
Cheramor小学校



① 研修

農家グループ：

苗木育成、ナーサリー管理
パパイヤ栽培
有機家庭菜園
有機除虫剤、コンパニオンプランツ
有機堆肥、
輪作、地元の農作物カレンダー作成
レコードキーピング

小学校：

アグロフォレストリー・システム
苗木育成・植林・管理
レコードキーピング
パパイヤの付加価値づけ

② 協同モニタリング

③ 事業評価

Cheramor小学校の
アグロフォレストリーガーデン

2. アグロフォレストリー（地球環境日本基金）

ケニア共和国半乾燥地域の植林推進目指して： ーサトウキビ農家へのアグロフォレストリー普及

 **活動** 研修、モニタリング、対象農家と小学校の連携、村レベルの種の保存、在来種植林



在来種の苗木と
地元の農家講師



Kiplakwa村のシードバンク



対象農家が育て
た自生種の苗木



農家によるKapchebwai小学校モニタリング



Kapchebwaiでの輪作研修

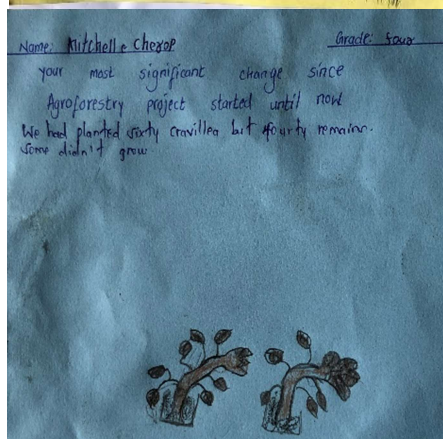
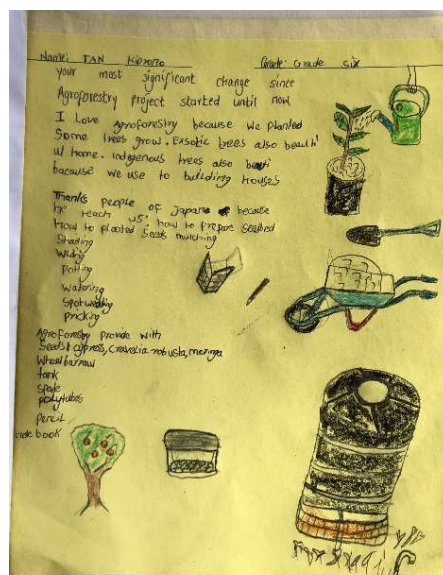
2. アグロフォレストリー（地球環境日本基金）

ケニア共和国半乾燥地域の植林推進目指して： ーサトウキビ農家へのアグロフォレストリー普及



成果

3年間の活動の成果を測るため、Most Significant Changes ストーリーを集めました。



Cheramor小学校教員による Before & After



「この事業を通じて村が団結したんだ！毎週村人たちが集まって自然環境を守ることや村の発展のことや困っている人たちを助ける話合いをするようになったんだ。」



「私は、密造酒づくりをきっぱり辞めて、アグロフォレストリーで生計を立てられるようになったの。」

生徒のMSC。苗木が育たなかったこと（下）



目次

1. 幼児の栄養改善
2. サトウキビ農家へのアグロフォレストリー普及
- 3. ケニアの子どもたちと守る生物多様性**
4. 今後の予定

3. 生物多様性

ケニアの子どもたちと守る生物多様性プロジェクト

(地球環境基金)



活動概要

- 地域の**伝統野菜や伝統食文化・自生樹木の調査・記録**活動を行う。
- 伝統的な食文化とそれにまつわる社会/文化的な背景の調査を通じ、**地元の生物多様性について理解**する。



対象地域

- Kericho County
- Vihiga County
- Narok County



対象校

- Kipsitet小学校
- Cheramor小学校
- Shamakhokho小学校
- Entasikira小学校



生物多様性 × ケニアの子どもたち



3. 生物多様性

ケニアの子どもたちと守る生物多様性プロジェクト



活動

(地球環境基金)

対象地域の住民に里山指標を使ったワークショップを開催 (Kericho)



3. 生物多様性

ケニアの子どもたちと守る生物多様性プロジェクト

(地球環境基金)



活動

伝統野菜を使った郷土料理の実演 (Kericho/Vihiga)



3. 生物多様性

ケニアの子どもたちと守る生物多様性プロジェクト

(地球環境基金)



活動

自生種の作物を育てる学校菜園活動 (Kericho/ Vihiga)



スライド 16

kH18

農業栄養のプロジェクト→農業栄養の活動

keiko HANDS, 2024/09/21

3. 生物多様性

ケニアの子どもたちと守る生物多様性プロジェクト

(地球環境基金)



今後の展望

対象地域で児童やユースたちが記録した伝統食物の**写真集**を作成予定

児童が記録した自生種のイラストがデザインされた**オリジナルポロシャツ**全対象校に配布



背中には現地語で**自生種**リストが掲載されている

目次

1. 幼児の栄養改善
2. サトウキビ農家へのアグロフォレストリー
普及
3. ケニアの子どもたちと守る生物多様性
- 4. 今後の予定**

4. 今後の予定

➤ 幼児の栄養改善事業 目標2つ

- 現場のニーズに基づいた**研修の企画・提供と教材開発による介入活動の充実化**
- 幼稚園での全プログラムの**維持発展の仕組み「幼稚園栄養デー」の導入**



4. 今後の予定

➤ ケニアの子どもたちと守る生物多様性事業

- 3カウンティの小学校で**伝統野菜や食文化等の記録と冊子づくり**
- 対象地域の関係者へ本事業に関する**情報提供と普及**



食や緑を通じて、子どもたちと未来を創る！



月例プレイサークル スナックの時間
伝統野菜の苦みをパパイアの甘みでバランスを
とったバナナ(料理用)のマッシュを食べる3歳児



収穫したばかりの伝統メイズと伝統的な保存法を
示してくれたアグロフォレストリー農家は、地域
の伝統知の伝道者